

Swan Report

スワンレポート NO.100

(2023年4~6月期)

室蘭市、登別市、白老町の 2023年 4月～ 6月の業況
2023年 7月～ 9月の予想

Contents

1. 第100回景気動向調査1
2. 経営上の問題点と当面の重点経営施策10
3. 特別調査
～アフターコロナと中小企業～11
4. 地域内企業のご紹介15
5. むろしん情報コラム
～スワンレポート第51回から第100回までの業況判断DIの推移～ ..16

おかげさまで
100号

皆さまのご協力に
心より感謝申し上げます。

1. 第100回景気動向調査

調査要領

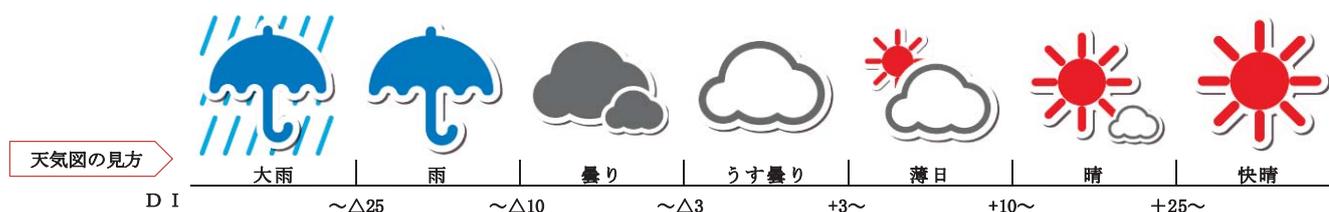
- (1) 調査地域 室蘭市、登別市、白老町
- (2) 調査時点 2023年6月
2023年4月～6月の実績 および2023年7月～9月の見通し
- (3) 調査方法 面談方式およびEメール・WEBアンケート方式
- (4) 分析方法 DI (増加-減少のウエイト)
- (5) 調査対象企業 191社 (うち有効回答151・回収率79%)

	調査対象 企業社数	構成比 (%)	有効回答 企業社数	地区別		
				室蘭市	登別市	白老町
製造業	38	20%	30	18	5	7
建設業	42	22%	29	17	9	3
卸売業	25	13%	19	10	3	6
小売業	35	18%	31	17	9	5
サービス業	51	27%	42	27	10	5
合計	191	100%	151	89	36	26

DIの説明

景気の傾向(拡大・縮小)を総合的に示した指標です。「増加」の回答割合から「減少」の回答割合を差し引いたものがDI値であり、高いほど景気に勢いがあり、反対に低いほど景気の停滞感が強いこととなります。

(例) 増加の回答が50%、不変の回答が30%、減少の回答が20%の場合、
DI値は、50%(増加) - 20%(減少) = +30となります。



業界コメントの説明

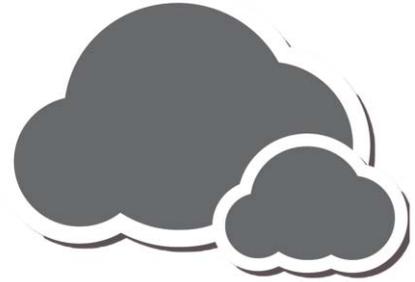
調査担当職員がお客様からお聞きしましたコメントの一部を記載しております。

全体概要

今回調査(2023年4月～6月期実績)では、全業種のD I値は△3 とマイナス水準ながら良化し、業種別では、小売業を除いて良化しました。

米中欧等の海外情勢やウクライナ情勢等を受けた物価高騰や円安進行等により、地域経済の業況は打撃を受けている一方、アフターコロナへの移行も徐々に本格化し、卸売業、サービス業はプラス水準に転じており、明るい兆しも見えております。

2023年7月～9月期の予想は、全業種のD I値は△5 と悪化見通し、業種別では卸売業のみ悪化見通しながら、その他は良化、または横ばい見通しと着実に、緩やかながらも持ち直しの動きが見られます。



○業種ごとの業況判断D Iの動き（過去の調査時の業況D Iとの比較）～御社の業況についてお聞きました～

	前々回調査 2022年 10～12月期実績	前回調査 2023年 1～3月期実績	今回調査 2023年 4～6月期実績	今後予想 2023年 7～9月期実績
全業種	△ 9 (+12)	△ 13 (-4)	△ 3  (+10)	△ 5 (-2)
製造業	△ 19 (-15)	△ 28 (-9)	0  (+28)	0 (0)
建設業	△ 20 (+7)	△ 33 (-13)	△ 24  (+9)	△ 17 (+7)
卸売業	+4 (-18)	△ 16 (-20)	+16  (+32)	△ 11 (-27)
小売業	△ 11 (+39)	+10 (+21)	△ 10  (-20)	△ 6 (+4)
サービス業	+3 (+32)	△ 2 (-5)	+5  (+7)	+5 (0)

()内は前回調査との比較

全業種

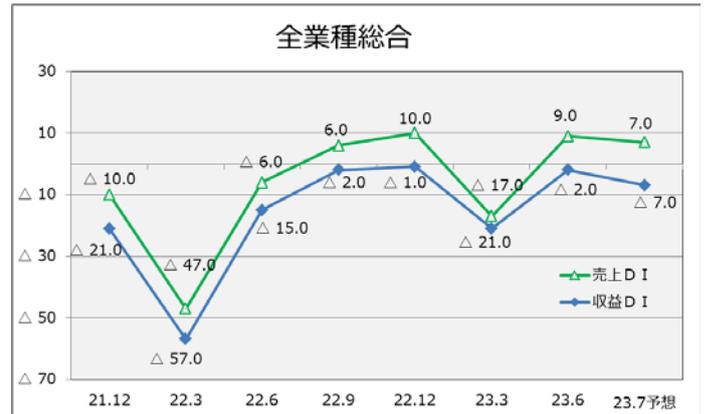
1. 全体合計

(1) 前回調査との比較と次回調査予想 ~ 前回調査時(2023年1月~3月)と比べて改善しましたか?~

今回調査実績 : 売上D I、収益D Iともに良化し、売上D Iはプラス水準で推移も、収益D Iはマイナス水準で推移しております。

今後の見通し : 売上D I、収益D Iともに悪化見通しで、売上D Iはプラス水準での推移も、収益D Iはマイナス水準での推移を見込んでおります。

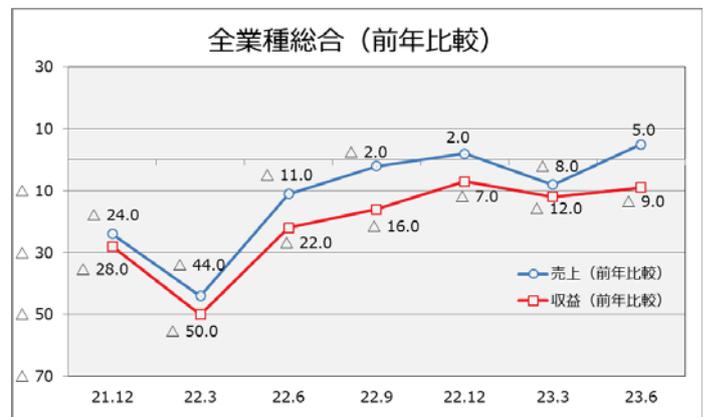
	前回調査 (1~3月)	今回調査 (4~6月)	今後予想 (7~9月)
売上D I	△ 17 (-27)	+9 (+26) ☀️☁️	+7 (-2)
収益D I	△ 21 (-20)	△ 2 (+19) ☁️	△ 7 (-5)



(2) 前年同時期との比較と、前々回調査・前回調査からの推移 ~ 前年の同時期と比べて改善しましたか?~

前年比較売上D I、収益D Iともに良化し、売上D Iはプラス水準で推移も、収益D Iはマイナス水準で推移しております。

	前々回調査 (10~12月)	前回調査 (1~3月)	今回調査 (4~6月)
前年比較 売上D I	+2 (+4)	△ 8 (-10)	+5 (+13) ☀️☁️
前年比較 収益D I	△ 7 (+9)	△ 12 (-5)	△ 9 (+3) ☁️



(3) その他のD I状況

	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 予想
販売価格D I	+34	+23	+31	+26
仕入価格D I	+79	+67	+67	+59
在庫D I	+1	△ 1	+4	+3
資金繰りD I	△ 8	△ 13	△ 5	△ 13
人手D I	△ 40	△ 35	△ 42	△ 46
設備D I	△ 11	△ 5	△ 9	△ 14
残業D I	+5	△ 17	△ 3	+7

2.室蘭市・登別市・白老町の比較

(1) 前回調査との比較と次回調査予想

業況DI : 今回調査では前回調査と比べて室蘭市、白老町で良化、登別市は横ばいで推移しており、今後の予想においては、室蘭市で良化、登別市、白老町で悪化する見込みです。

売上DI : 今回調査では前回調査と比べて3地域全てで良化しており、今後の予想においては、白老町で良化、室蘭市、登別市で悪化する見込みです。

収益DI : 今回調査では前回調査と比べて3地域全てで良化しており、今後の予想においては、登別市、白老町で良化、室蘭市で悪化する見込みです。

	室蘭市			登別市			白老町		
	前回調査 (1~3月)	今回調査 (4~6月)	今後予想 (7~9月)	前回調査 (1~3月)	今回調査 (4~6月)	今後予想 (7~9月)	前回調査 (1~3月)	今回調査 (4~6月)	今後予想 (7~9月)
業況DI	△ 14 (+11)	△ 3 (+11) ☁	△ 2 (+1)	△ 3 (△11)	△ 3 (0) ☁	△ 6 (-3)	△ 24 (△39)	△ 4 (+20) ☁	△ 12 (-8)
売上DI	△ 23 (△19)	+9 (+32) ☁☀	+3 (-6)	+3 (-20)	+19 (+16) ☀☁	+17 (-2)	△ 23 (△53)	△ 8 (+15) ☁	+8 (+16)
収益DI	△ 26 (△17)	△ 2 (+24) ☁	△ 14 (-12)	△ 8 (-8)	+8 (+16) ☀☁	+11 (+3)	△ 23 (△42)	△ 15 (+8) ☂	△ 8 (+7)

(2) 前年同時期との比較と、前々回調査・前回調査からの推移

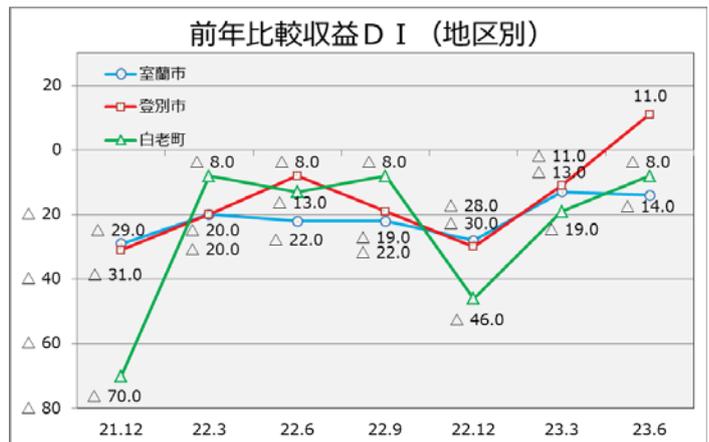
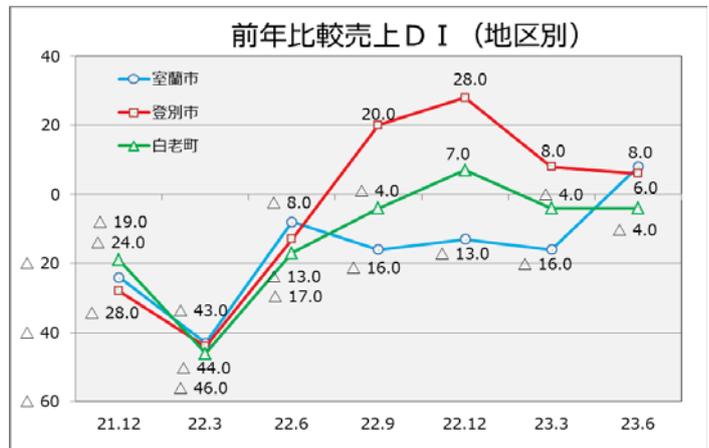
前年比較売上DIは室蘭市は良化、白老町は横ばい、登別市は悪化しております。

前年比較収益DIは登別市、白老町は良化、室蘭市は悪化しております。

室蘭市	前々回調査 (10~12月)	前回調査 (1~3月)	今回調査 (4~6月)
前年比較 売上DI	△ 13 (+3)	△ 16 (-3)	+8 (+24) ☀☁
前年比較 収益DI	△ 28 (-6)	△ 13 (+15)	△ 14 (-1) ☂

登別市	前々回調査 (10~12月)	前回調査 (1~3月)	今回調査 (4~6月)
前年比較 売上DI	+28 (+8)	+8 (-20)	+6 (-2) ☀☁
前年比較 収益DI	△ 30 (-11)	△ 11 (+19)	+11 (+22) ☀☁

白老町	前々回調査 (10~12月)	前回調査 (1~3月)	今回調査 (4~6月)
前年比較 売上DI	+7 (+11)	△ 4 (-11)	△ 4 (0) ☁
前年比較 収益DI	△ 46 (-38)	△ 19 (+27)	△ 8 (+11) ☁



製造業

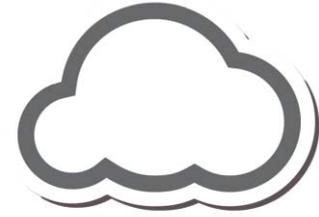
1. 前回調査との比較と次回調査予想 ～ 前回調査時(2023年1月～3月)と比べて改善しましたか?～

今回調査実績 : 売上D I、収益D Iともに良化し、売上D Iはプラス水準で推移も、収益D Iはマイナス水準で推移しております。

今後の見通し : 売上D Iは横ばい見通し、収益D Iは良化見通しでマイナス水準からの脱却を見込んでおります。

	前回調査 (1～3月)	今回調査 (4～6月)	今後予想 (7～9月)
売上D I	△ 31 (-25)	+10 (+41) 	+10 (0)
収益D I	△ 31 (-18)	△ 10 (+21) 	0 (+10)

業況判断DI



(P2 業況判断DIの動きより)

2. 前年同時期との比較と、前々回調査・前回調査からの推移 ～ 前年の同時期と比べて改善しましたか?～

前年比較売上D I、収益D Iともに良化も、マイナス水準で推移しております。

	前々回調査 (10～12月)	前回調査 (1～3月)	今回調査 (4～6月)
前年比較 売上D I	△ 6 (-6)	△ 38 (-32)	△ 20 (+18) 
前年比較 収益D I	△ 20 (-12)	△ 31 (-11)	△ 30 (+1) 



業界コメント

- ・コロナ禍で減少していた本州方面の工事が回復してきた。(室蘭市)
- ・昨年まで鋼材を毎日配達してくれていた運送会社が撤退してしまい、当社自ら配送する機会が増えて人員的にもコスト的にも経営を圧迫している。(室蘭市)
- ・半導体関連の影響なのか4月からの新年度はあまり良くないスタート。夏まで～今年いっぱい良くないという不確かな情報はあれど、先が見えない状況。(登別市)
- ・原価高騰、人材不足は否めないが大型の公共工事が始まり当社も関与。町外の工事も活況であり受注状況は良好。(白老町)



建設業

1. 前回調査との比較と次回調査予想 ～ 前回調査時(2023年1月～3月)と比べて改善しましたか?～

今回調査実績 : 売上D I、収益D Iともに良化も、マイナス水準で推移しております。

今後の見通し : 売上D I、収益D Iともに良化見通しであるものの、マイナス水準での推移を見込んでおります。

	前回調査 (1～3月)	今回調査 (4～6月)	今後予想 (7～9月)
売上D I	△ 34 (-17)	△ 21 (+13) 	△ 7 (+14)
収益D I	△ 41 (-41)	△ 21 (+20) 	△ 18 (+3)

業況判断DI

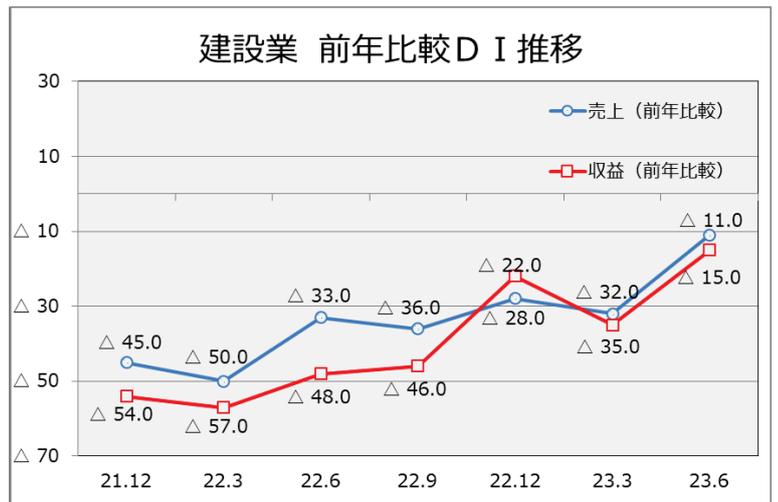


(P2 業況判断DIの動きより)

2. 前年同時期との比較と、前々回調査・前回調査からの推移 ～ 前年の同時期と比べて改善しましたか?～

前年比較売上D I、収益D Iともに良化も、マイナス水準で推移しております。

	前々回調査 (10～12月)	前回調査 (1～3月)	今回調査 (4～6月)
前年比較 売上D I	△ 28 (+8)	△ 32 (-4)	△ 11 (+21) 
前年比較 収益D I	△ 22 (+24)	△ 35 (-13)	△ 15 (+20) 



業界コメント

- GW明け以降、例年以上に現場は活況に動き始めており、業界動向としてコロナ禍の影響から脱却しつつある。(室蘭市)
- 今後、大型商業施設に係る大口受注を予定しており、受注状況は良好。(室蘭市)
- 現場が動き始めたことで、コロナ禍前までには満たないものの70%程度まで売り上げ回復。現在も回復基調にあり、コロナ禍前程度までの回復も十分見込める状況。(登別市)
- 今年度は、選挙年なので公共工事の発注が遅く・少なくなると思われる。補填すべく、民間工事の受注拡大を目指している。(白老町)



卸売業

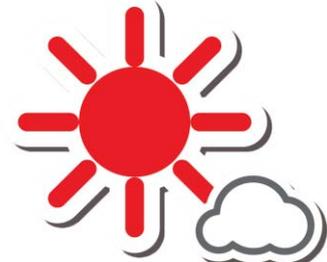
1. 前回調査との比較と次回調査予想～前回調査時(2023年1月～3月)と比べて改善しましたか?～

今回調査実績 : 売上D I、収益D Iともに良化し、プラス水準に転じました。

今後の見通し : 売上D Iは悪化見通し、収益D Iは良化見通しも、共にプラス水準での推移を見込んでおります。

	前回調査 (1～3月)	今回調査 (4～6月)	今後予想 (7～9月)
売上D I	△ 11 (-54)	+21 (+32) 	+5 (-16)
収益D I	△ 16 (-46)	+16 (+32) 	+21 (+5)

業況判断DI

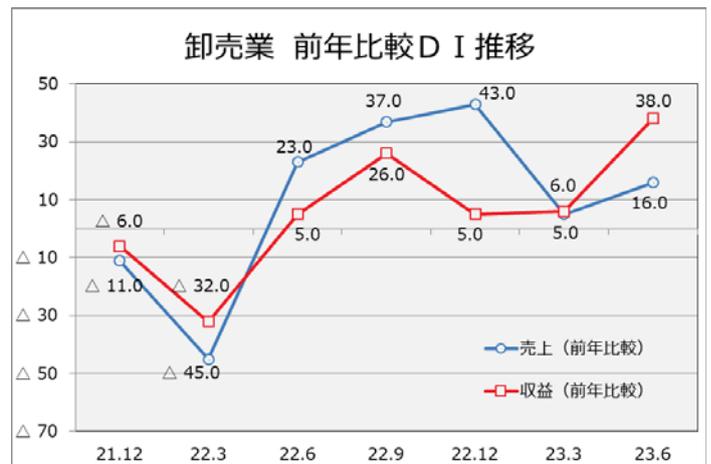


(P2 業況判断DIの動きより)

2. 前年同時期との比較と、前々回調査・前回調査からの推移～前年の同時期と比べて改善しましたか?～

前年比較売上D I、収益D Iともに良化し、プラス水準で推移しております。

	前々回調査 (10～12月)	前回調査 (1～3月)	今回調査 (4～6月)
前年比較 売上D I	+43 (+6)	+5 (-38)	+16 (+11) 
前年比較 収益D I	+5 (-21)	+6 (+1)	+38 (+32) 



業界コメント

- ・海外輸出から国内への販売に比重を置き、売上はやや減少したが、収益性は良化している。
(室蘭市)
- ・水揚げ量の増加および取扱い品目拡大により売上は増加。人手不足の状態は以前より感じているが、業種柄思うように人材は確保できていない。(白老町)
- ・コロナ禍の影響も緩和となり、徐々に市場関係者は動きだしている。漁獲量は良好に推移しており、順調であるものの、資材価格や輸送価格が上昇しており、収益性改善には至っていない。
(白老町)



小売業

1. 前回調査との比較と次回調査予想～前回調査時(2023年1月～3月)と比べて改善しましたか?～

今回調査実績 : 売上DI、収益DIともに良化し、売上DIはプラス水準に転じましたが、収益DIはマイナス水準で推移しております。

今後の見通し : 売上DIは横ばい見通し、収益DIは悪化見通しで、マイナス水準での推移を見込んでおります。

	前回調査 (1～3月)	今回調査 (4～6月)	今後予想 (7～9月)
売上DI	0 (-29)	+6 (+6) 	+6 (0)
収益DI	△17 (-3)	△3 (+14) 	△13 (-10)

業況判断DI

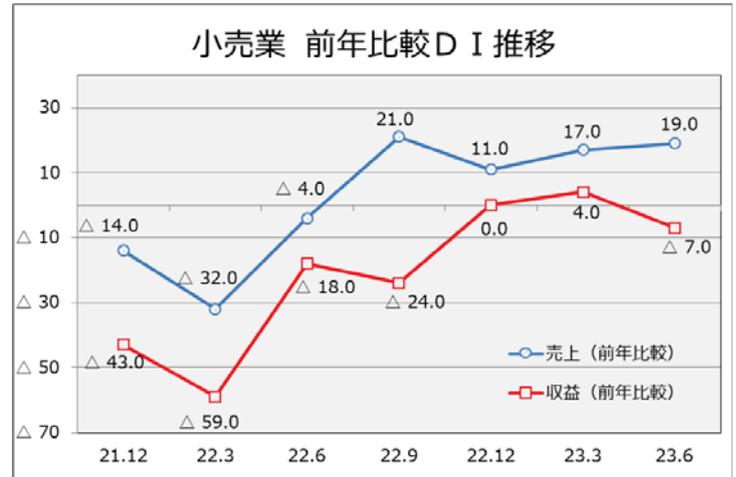


(P2 業況判断DIの動きより)

2. 前年同時期との比較と、前々回調査・前回調査からの推移～前年の同時期と比べて改善しましたか?～

前年比較売上DIは良化し、プラス水準で推移も、収益DIは悪化し、マイナス水準に転じております。

	前々回調査 (10～12月)	前回調査 (1～3月)	今回調査 (4～6月)
前年比較 売上DI	+11 (-10)	+17 (+6)	+19 (+2) 
前年比較 収益DI	0 (+24)	+4 (+4)	△7 (-11) 



業界コメント

- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う、イベントの増加からやや好調。(室蘭市)
- ・Amazon等ネットショッピングの普及により顧客数減少など厳しい外部環境下にある。(室蘭市)
- ・外国人観光客が来るか来ないかで、売り上げに大きく差が出てしまっている。(登別市)
- ・5月のGWはまずまずの顧客を確保できたが、それ以降は平日の顧客単価は上昇してきたが、週末(土日)は前年に比べ減少している。また人材確保についてもパート従業員確保に苦慮している。燃料費・電気代の高止まりが収益面を圧迫している。(白老町)



サービス業

1. 前回調査との比較と次回調査予想 ～前回調査時(2023年1月～3月)と比べて改善しましたか?～

今回調査実績 : 売上D I、収益D Iともに良化し、プラス水準に転じております。

今後の見通し : 売上D I、収益D Iともに悪化し、売上D Iはプラス水準での推移見通しも、収益D Iはマイナス水準での推移が見込まれます。

	前回調査 (1～3月)	今回調査 (4～6月)	今後予想 (7～9月)
売上D I	△ 9 (-18)	+24 (+33) 	+17 (-7)
収益D I	△ 5 (-2)	+10 (+15) 	△ 12 (-22)

業況判断DI

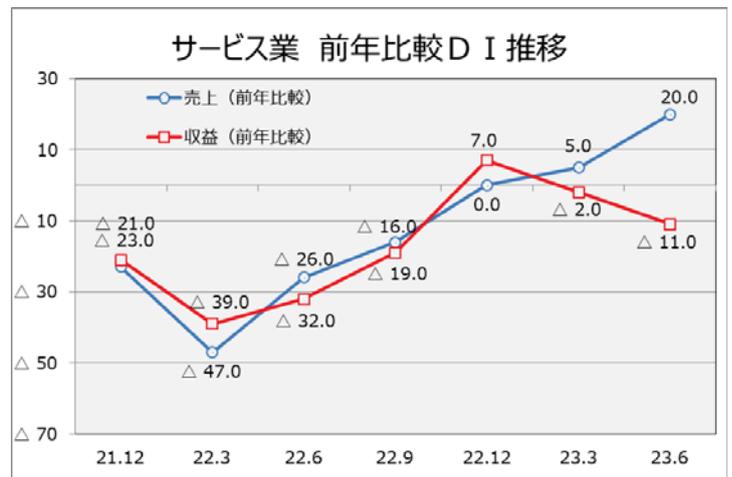


(P2 業況判断DIの動きより)

2. 前年同時期との比較と、前々回調査・前回調査からの推移 ～前年の同時期と比べて改善しましたか?～

前年比較売上D Iは良化し、プラス水準で推移見通しも、収益D Iは悪化し、マイナス水準で推移見通しです。

	前々回調査 (10～12月)	前回調査 (1～3月)	今回調査 (4～6月)
前年比較 売上D I	0 (+16)	+5 (+5)	+20 (+15) 
前年比較 収益D I	+7 (+26)	△ 2 (-9)	△ 11 (-9) 



業界コメント

- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行もあり、飲食店の来客状況は従前通りの状況に戻りつつある。(室蘭市)
- ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う風評被害を懸念している。(室蘭市)
- ・今月から電気料金が値上げされ、仕事すればするほど支出が多くなる傾向にある。電気代が1番の問題。(登別市)
- ・仕入価格高騰分を販売価格に転嫁しきれておらず、今後の利幅縮小が懸念材料である。売上確保に向けて新たな取引先を模索中。(白老町)



2. 経営上の問題点と当面の重点経営施策

■ 経営上の問題点

【今回】

(複数回答)

製造業			建設業			卸売業			小売業			サービス業		
1位	売上の停滞・減少	47%	1位	材料価格の上昇	55%	1位	材料価格の上昇	53%	1位	材料価格の上昇	45%	1位	材料価格の上昇	50%
1位	人手不足	47%	2位	人手不足	52%	2位	売上の停滞・減少	32%	2位	売上の停滞・減少	42%	2位	人手不足	45%
1位	材料価格の上昇	47%	3位	売上の停滞・減少	45%	2位	利幅の縮小	32%	3位	人手不足	32%	3位	利幅の縮小	29%

【前回】

(複数回答)

製造業			建設業			卸売業			小売業			サービス業		
1位	売上の停滞・減少	62%	1位	人手不足	50%	1位	材料価格の上昇	50%	1位	売上の停滞・減少	40%	1位	人手不足	42%
2位	材料価格の上昇	48%	2位	売上の停滞・減少	47%	2位	売上の停滞・減少	45%	1位	材料価格の上昇	40%	1位	材料価格の上昇	42%
3位	人手不足	28%	3位	材料価格の上昇	37%	3位	利幅の縮小	35%	3位	人手不足	37%	3位	人件費以外の経費の増加	37%

■ 当面の重点経営施策

【今回】

(複数回答)

製造業			建設業			卸売業			小売業			サービス業		
1位	販路を広げる	43%	1位	技術力を強化する	52%	1位	経費を節減する	68%	1位	経費を節減する	61%	1位	人材を確保する	52%
1位	経費を節減する	43%	1位	人材を確保する	52%	2位	人材を確保する	42%	2位	人材を確保する	45%	2位	経費を節減する	48%
3位	技術力を強化する	37%	3位	経費を節減する	45%	3位	販路を広げる	32%	3位	販路を広げる	32%	3位	販路を広げる	38%

【前回】

(複数回答)

製造業			建設業			卸売業			小売業			サービス業		
1位	経費を節減する	48%	1位	人材を確保する	50%	1位	経費を節減する	55%	1位	経費を節減する	57%	1位	経費を節減する	53%
2位	販路を広げる	45%	2位	技術力を強化する	43%	2位	販路を広げる	40%	2位	人材を確保する	47%	2位	人材を確保する	49%
3位	技術力を強化する	41%	3位	経費を節減する	40%	3位	人材を確保する	30%	3位	販路を広げる	30%	3位	販路を広げる	37%

3. 特別調査 ～アフターコロナと中小企業～

▶ 特別調査 ① ◀

政府が企業に対して賃上げを要請していますが、貴社では賃上げ、もしくは一時金の支給を実施しましたか？また、その原資についてお答えください。

◀調査結果▶

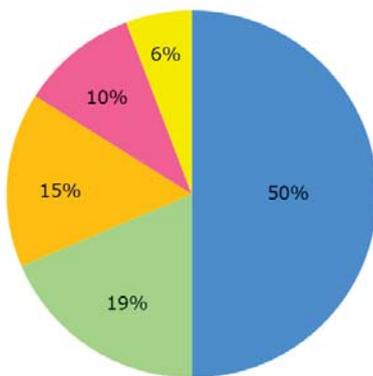
「賃上げの実施」については、「賃上げはしていない」との回答が50%となっております。
賃上げを実施した50%については、「販売価格の引き上げ」により賃上げを実施したとの回答が19%、以下、「経費の節減」が15%、「内部留保の取り崩し」が10%となっております。
一方、「一時金支給の実施」については、「一時金は支給していない」との回答が73%と大半を占めております。

政府の賃上げ要請

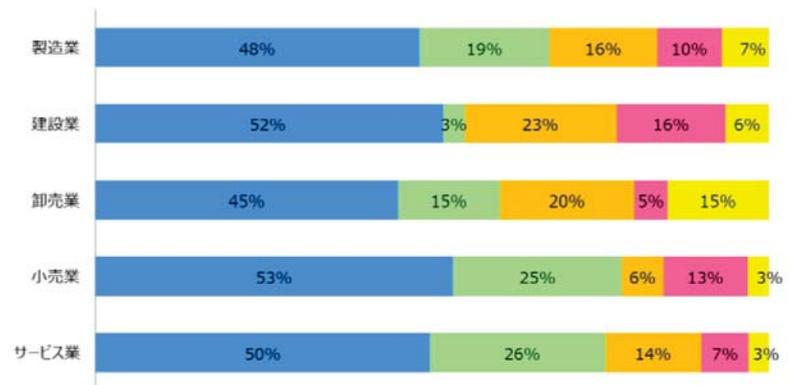
1. 賃上げの実施

■ 賃上げはしていない ■ 販売価格の引上げ ■ 経費の節減 ■ 内部留保の取り崩し ■ その他

(全業種)



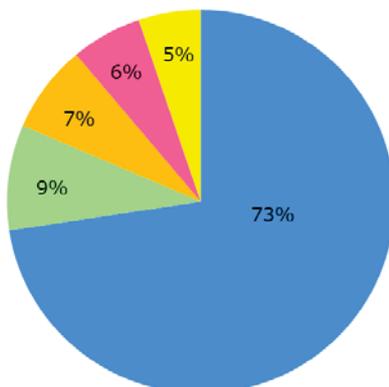
(業種別)



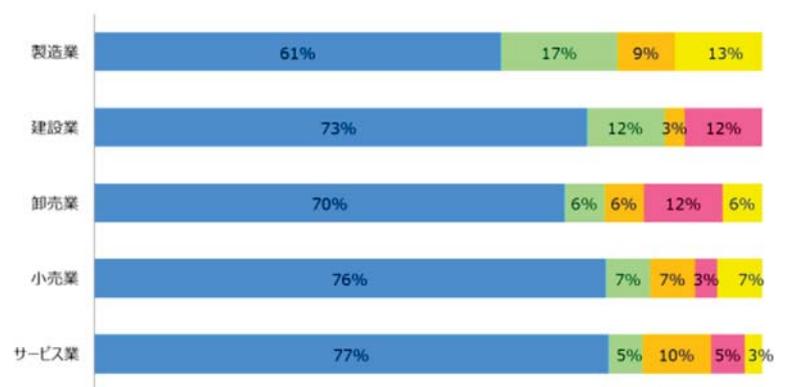
2. 一時金支給の実施

■ 一時金は支給していない ■ 内部留保の取り崩し ■ 販売価格の引上げ ■ その他 ■ 経費の節減

(全業種)



(業種別)



特別調査 ②

昨今の原材料・仕入価格の上昇分や電力・エネルギー価格の上昇分相当を、販売価格に転嫁（上乘せ、値上げ）できていますか。

《調査結果》

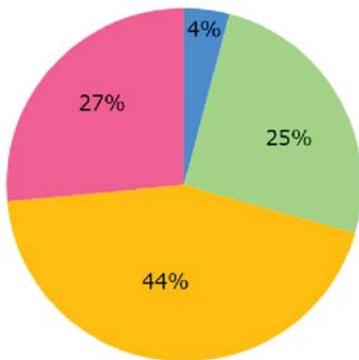
「原材料・仕入価格」については、“全て転嫁できている”、“ほぼ転嫁できている”、“やや転嫁できている”が約75%を占めておりますが、その内でも“やや転嫁できている”が44%と最も多い回答となっております。

一方で、「電力・エネルギー価格」については、“転嫁できていない”が57%と約6割を占める回答となり、次いで“やや転嫁できている”が32%と、「原材料・仕入価格」に比して、販売価格への転嫁に苦慮していることが推察されます。

原材料・仕入価格

■ 全て転嫁できている ■ ほぼ転嫁できている ■ やや転嫁できている ■ 転嫁できていない

(全業種)



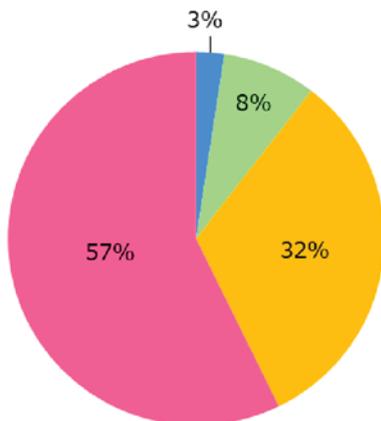
(業種別)



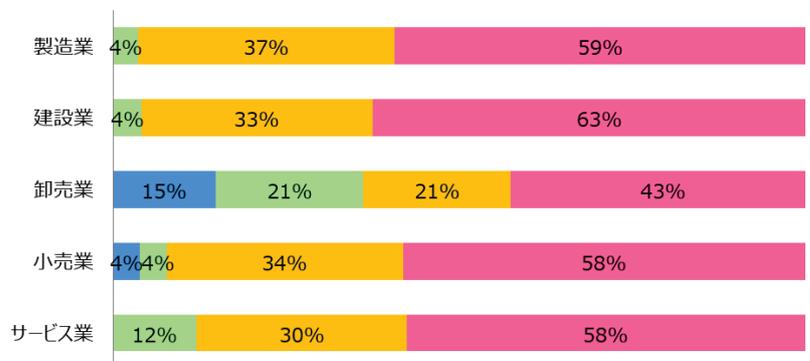
電力・エネルギー価格

■ 全て転嫁できている ■ ほぼ転嫁できている ■ やや転嫁できている ■ 転嫁できていない

(全業種)



(業種別)



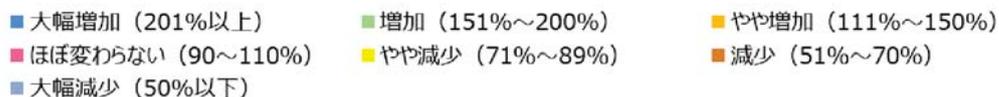
特別調査 ③

新型コロナウイルス感染拡大から3年が経過しましたが、貴社の現在の売上について、感染拡大前(およそ3年前) と比べ、どの程度となっていますか？

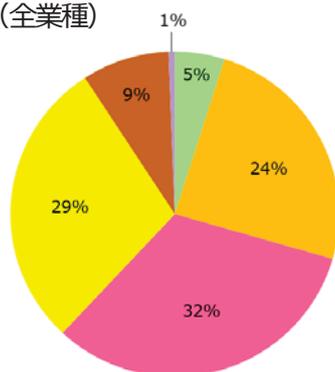
《調査結果》

「現在の売上高」については、“ほぼ変わらない”が32%と最も多く、次いで“やや減少”が29%、“やや増加”が24%となりました。

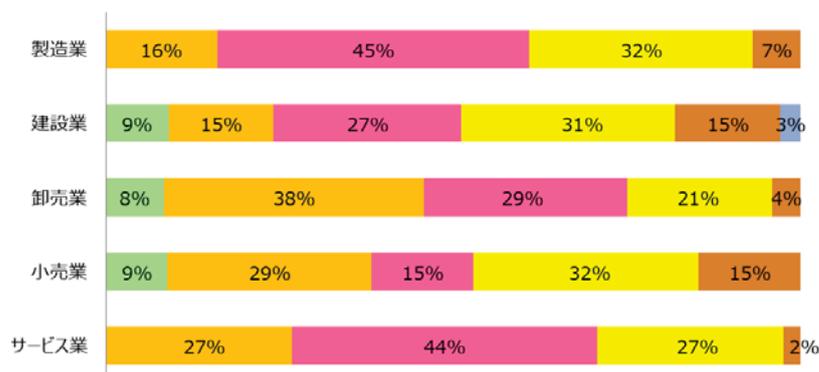
現在の売上



(全業種)



(業種別)



特別調査 ④

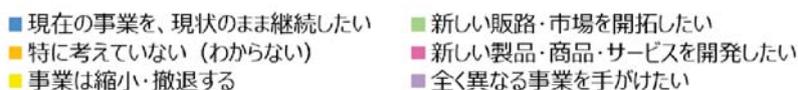
3~5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか？

《調査結果》

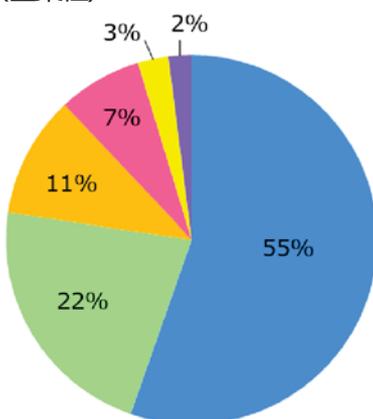
「事業展開」については、“現在の事業を、現状のまま継続したい”が55%と最も多い回答となりました。

また、“新しい販路・市場を開拓したい”が22%、“新しい製品・商品・サービスを開発したい”が7%、“全く異なる事業を手がけたい”が2%と、新規事業を視野に入れている回答も見受けられる一方、“事業は縮小・撤退する”が3%との回答も見られました。

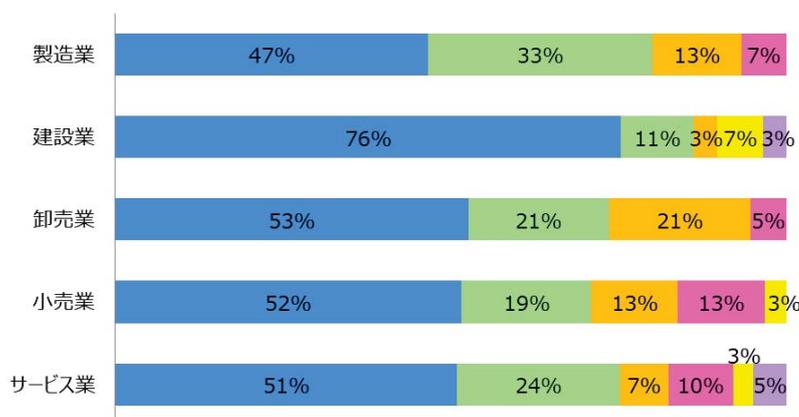
事業展開について



(全業種)



(業種別)



特別調査 ⑤

人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか？

《調査結果》

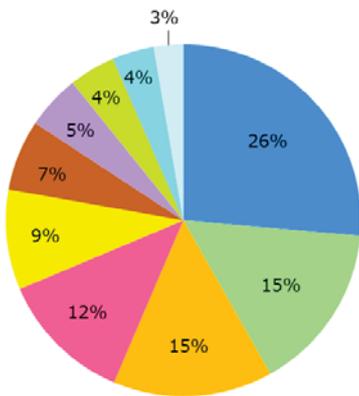
「職場環境の改善」について、9つの回答項目のいずれかを実施している企業が85%を占め、「賃上げ等、待遇面の改善」が26%、「高齢者の就業促進」が15%、「ワークライフバランスの充実（長時間労働是正等）」が12%と以下に続いており、分散した回答結果となりました。

一方で、「特にない」との回答が15%と2番目に多い回答となりました。

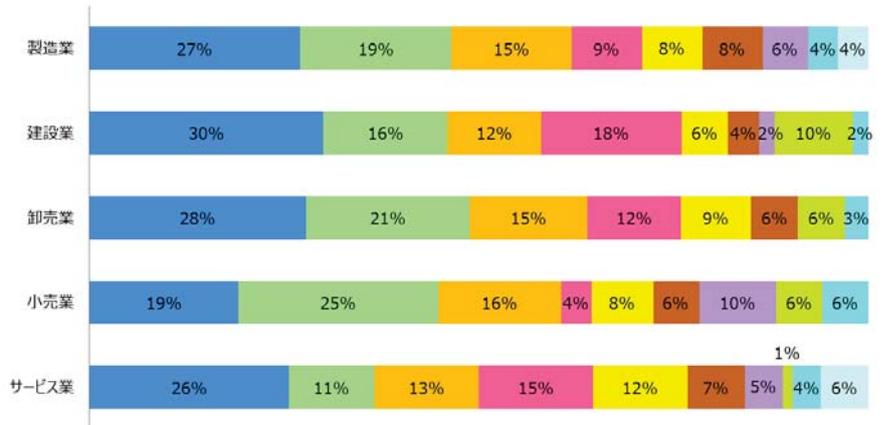
職場環境の改善

- 賃上げ等、待遇面の改善
- 特にない
- 高齢者の就業促進
- ワークライフバランスの充実（長時間労働是正等）
- 人事管理（評価、処遇）の適正化
- 女性が活躍しやすい環境整備
- 子育て、介護との両立
- 外国人材の活用
- 非正規雇用の処遇改善
- テレワーク等、IT化の推進

(業種別)



(業種別)



むろしんからのお知らせ

Follow Me

Instagram
インスタグラム

はじめました！

muroshin_official

MUROSHIN_OFFICIAL

**室蘭・登別・白老
周辺地域のグルメや
オススメ情報**

**金融コラムや地元の
企業などの情報を
発信します!!**

一緒に地元の魅力を発信しませんか??
掲載企業募集中です。

気になった方はInstagram DMもしくは、スワンレポート
問合せ先 (eisui12@muroshin.co.jp)までご連絡
ください。

4.地域内企業のご紹介

Company introduction



五嶋金属工業株式会社

当社は1980年の創業から製鉄所等大規模工場向けの金属部品を製造していますが、消費者向け製品がないため、「鉄のまち室蘭で培った技術を独自商品として表現したい」との代表者の熱い想いから、2022年にアウトドア用焚き火台を開発、販売開始しました。

焚き火台は金属を加熱膨張・冷却させる「焼き嵌め（やきはめ）」で底板と側面を堅く結合、他にも金属加工技術を駆使し、歪みにくく耐久性の高い製品に仕上がっています。側面にアイヌの守り神シマフクロウをレーザー加工で透かし彫りし、焚き火の炎で柄が地面に鮮明に浮かび上がると共に、空気孔の役割も果たし機能性にもこだわっています。焚き火台用の五徳も社内コンペを行い開発、ECサイトでの販売やアウトドアイベントへの出展を通して、金属のプロフェッショナルとして歩んできた技術を感じていただければと考えています。

主要商品

◎鋼構造物製造・据付工事

代表者 五島 了

所在地 室蘭市東町3丁目31番4号

連絡先 TEL：0143-45-8455

FAX：0143-45-2595

HP：https://goshimakinzoku.co.jp



太平電気株式会社

当社は1957年創業以来、主業務の電気工事にとどまらず、大手鉄鋼メーカー向け大型産業機械の設計・製作や電気設計・施工・保全業務までを一貫して手掛け、生産工程自動化にも早くから取り組んでおります。

人材不足が顕著となった現代、各種生産設備の産業用ロボット導入によるライン自動化・省力化が喫緊の課題となっておりますが、当社は北海道で数少ないロボットSier事業者として、産業用ロボット導入・運用支援、安全教育等に取り組んでおります。

2021年3月に店舗内店舗となった室蘭信用金庫の旧営業店を全面リニューアルしてご活用いただき、各種産業用ロボットのデモ、関連資格試験の講義・実習等の他、未来のものづくりを担う子ども向けのロボット体験教室開催等の拠点として、また、北海道初となる2023年ロボットアイデア甲子園大会会場として、大いに存在感を発揮しております。

主要商品

◎プラント設備電気工事
一般電気設備・通信設備工事
産業用ロボット導入支援

代表者 松見 哲也

所在地 室蘭市御前水町1丁目6番30号

担当者 総務部 足立部長

連絡先 TEL：0143-23-1188

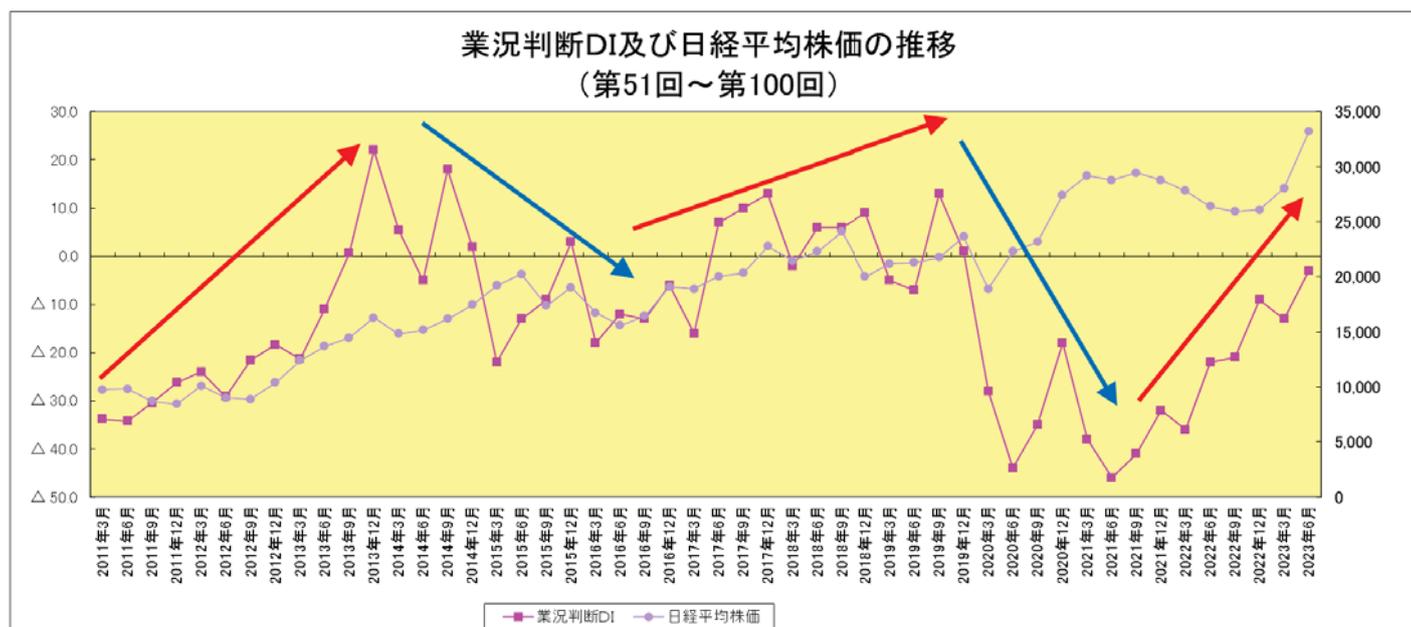
FAX：0143-24-2615

HP：https://taiden.jp

E-mail：info_taihei@taiden.jp

5.むろしん情報コラム ～スワンレポート第51回から

第100回までの業況判断DIの推移～



スワンレポートは今回で発行回数がなんと100回となりました！100回発行を記念し、51回から100回までの12年6ヶ月にわたる業況判断DIの動向について、調査を行いました。なお、第1回から第50回の推移は、第50号発行当時にコラムを掲載いたしました。次ページに、同内容を再掲しております。

まず、51回から100回の期間中における日本経済の動向について説明させていただきます。

51回が発行された2011年3月ごろはリーマンショックによる世界的なデフレからの脱却及び東日本大震災発生からの復興に向けて、政府と日本銀行が景気刺激策を積極的に実施していた時期でした。第二次安倍政権によるアベノミクス（2012年12月開始）や日本銀行の黒田総裁によるマイナス金利導入（2016年1月）や長短金利操作付き量的・質的金融緩和（2016年9月）などが実施されたほか、インバウンド需要の高まりから景気は回復基調が続いておりました。しかし、2020年に新型コロナウイルス（以下、コロナ）が世界的に大流行し、行動制限などから消費活動が低迷、国内のインバウンド需要も蒸発しました。直近では、2023年4月にコロナが第5類へ移行され、インバウンド需要に復活の兆しが見えてくるなど、コロナによる影響は終息に向かっているものの、原材料高などによるインフレが消費に影響を及ぼしている状況にあります。以下は、各期間における主な業況判断DIの動向になります。

(1) 2011年3月～2013年12月の上昇局面（第51回～第62回）

リーマンショックを契機として世界同時不況からの脱却を目指し、世界各国で金融緩和策が実施され、その効果が波及。室蘭管内においても、その効果を受けて大手企業の受注が回復。業況判断DIもそれに伴い上昇し、2013年12月には+22と2006年12月期と同じく過去最高の水準となりました。

(2) 2013年12月～2016年9月の低下局面（第63回～第73回）

日経平均株価は、日本銀行において相次ぐ金融緩和策の実施から、緩やかな回復基調が続いていましたが、管内においては、2011年3月に発生した東日本大震災による福島第一原子力発電所事故の発生により、世界的に原子力発電からの脱却が検討されはじめ、その影響を受け日本製鋼所(株)室蘭製作所の受注が低迷し、管内経済に波及。業況DIは下降致しました。

(3) 2016年12月～2019年9月の上昇局面（第74回～第85回）

日本銀行においてデフレ脱却に向けて、マイナス金利の導入、長短金利操作付き量的質的金融緩和の導入といった新たな金融緩和策を実施。それに伴い、直前まで一服感が出ていた日経平均株価は2016年12月より再び上昇。業況判断D Iにおいても、日経平均株価の上昇と同じタイミングで上昇に転じました。この時期の管内では、大手企業の業況が改善したことによる受注増加、市内の小中学校の統廃合や生涯学習センター「きらん」建設など大型の公共事業、登別温泉地区におけるインバウンド需要の増加などがございました。

(4) 2019年12月～2021年6月の低下局面（第86回～第92回）

コロナが2020年から世界で大流行となり、各国で行動制限をかけるなどの対策が行われ、経済が急速に低迷。日本国内においても2020年より流行し、国の緊急事態宣言や道の休業要請やまん延防止等重点措置など実施され、消費活動の停滞を余儀なくされました。管内においては、登別温泉の宿泊客延べ数が2020年6月に単月2,037人まで落ち込むなどの影響があり、業況判断D Iは2021年6月には過去最低水準となる△46となりました。

(5) 2021年9月～現在までの上昇局面（第93回～第100回）

コロナの影響が収まり始め、「Go To トラベル」や「Go To Eat」など国による経済活性化のための施策が図られ、各地のイベント再開やインバウンド需要の復活などから、消費活動が回復基調にあります。その影響から、管内の業況にも改善が見られ、再び業況判断D Iは上昇局面を迎えております。

(6) 全体を通して

管内景気（業況判断D I）は国内景気（日経平均株価）とほぼ連動して推移してはりましたが、コロナの流行時期から、その関係性は一時崩れ、国内景気は国による経済施策により底支えもあり一定の水準は保たれたものの、管内景気においてはその影響を如実に受けた結果となりました。直近の推移については、また国内景気の上昇に伴い、管内景気も上昇傾向であり、コロナ前の関係性に戻りつつあるものと考えております。

最後に、引き続きタイムリーな管内景気の動向をお知らせするとともに、室蘭管内におけるさまざまな情報を発信して参ります。また、当金庫では、地域情報の発信や金融コラム、金庫の情報について、下記のSNSで情報発信もしておりますので、併せてご覧いただけますと幸いです。

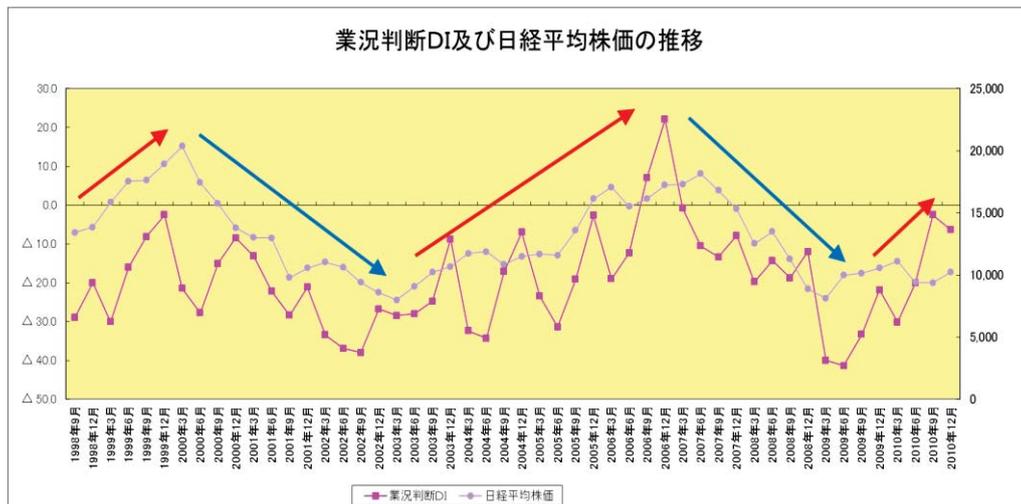
【フェイスブック】
主に室蘭信用金庫の情報を
中心に更新しています。
<https://www.facebook.com/muroranshinkin2018>



【インスタグラム】
室蘭・登別・白老など地域の
情報や企業紹介、金融にまつわる
コラムなどを更新しています。
https://www.instagram.com/muroshin_official



(スワンレポート 50 号より)
**第 1 回～第 50 回までの
 業況判断 DI 値の推移**



(一部抜粋)

スワンレポートはおかげさまで発行回数が 50 回を数えました。そこで、今回の情報コラムは 50 回を記念し、1 回から 50 回までの 12 年 6 ヶ月にわたる業況判断DIとその間の日経平均株価の推移をグラフで比較し、国内景気(日経平均株価)と管内景気(業況判断DI)の検証を行いました。

(1) スワンレポート第 1 回目発行(1998 年 10 月)

この年の 6 月に今では室蘭市の観光名所の代表となった白鳥大橋が開通したことにちなみ、そこから本誌の名前を「スワンレポート」と名付けました。日本経済は前年の北海道拓殖銀行の破綻に続き、日本長期信用銀行や日本債権信用銀行が破綻するなど、バブル崩壊後のいわゆる“失われた 10 年”を象徴する出来事が相次ぎ、第 1 回目の業況判断DIは△29 からのスタートとなりました。

(2) 1 回目の上昇局面(1998 年 10 月～1999 年 12 月)

1998 年 3 月、政府による 16 兆円規模の総合経済対策などが功を奏し、業況判断DIは順調に上昇局面を迎え、1999 年 12 月には△3 で山を打ちました。1999 年 12 月のスワンレポート(第 6 回)では、公共事業の増大に伴い前年実績を上回る企業が多かったことや、白鳥大橋の開通に伴う観光客の増加、新日鐵の発電所建設や栗林商会の新本社ビル建設など明るい話題が目立ちました。

(3) 1 回目の低下局面(1999 年 12 月～2002 年 9 月)

その後、ITバブル崩壊によるアメリカ経済の失速で国内経済は急速に冷え込み、日経平均株価を後追いし業況判断DIは 2002 年 9 月に△38 まで落ち込みました。このような中で、2002 年 9 月のスワンレポート(第 17 回)では、2006 年度までの期限付きの存続となっていた函館どつく室蘭製作所の正式存続が決定、室蘭開発建設部が進めている「Mランド」建設事業で沖合い 3 百メートルの人工島埋め立て工事が始まるなど、一部で明るい動きもありました。

(4) 2 回目の上昇局面(2002 年 9 月～2006 年 12 月)

2 回目の上昇局面は、前年の 2001 年 4 月に発足した小泉政権の下、「いざなぎ景気」を超えて「いざなみ景気」と呼ばれる戦後最長となった景気拡大局面を迎え、業況判断DIは 2006 年 12 月に+22 となり、調査以来最高の水準となりました。2006 年 12 月のスワンレポート(第 34 回)によると、大手製造業の活発な設備投資の動きが見られ、その影響は中小企業まで波及しました。また、雇用面ではこうした状況を受け、室蘭職業安定所が発表した 2006 年 11 月の有効求人倍率では 0.84 倍と全道平均の 0.54 倍を大きく上回りました。

(5) 2 回目の低下局面(2006 年 12 月～2009 年 6 月)

バブル崩壊からようやく胎動を始めた日本経済でしたが、2 回目の低下局面を迎え、2008 年 9 月のリーマン・ブラザーズの破綻をきっかけとして、世界経済が急速に低迷し国内にも波及、管内大手製造業は生産量の大幅な減少を余儀なくされ、業況判断DIは調査以来最低の水準△41 まで低下しました。2009 年 6 月のスワンレポート(第 44 回)では、白老町から旭化成が撤退、西胆振唯一の百貨店である北海道丸井今井室蘭店の閉店が決定するといった暗い話題が目立ちました。

(6) 上昇局面(2009 年 6 月～現在)

世界同時不況を受けて世界各国は経済対策を実施、その結果、新興国を中心とした需要が回復しました。その需要回復を受け国内企業の輸出量が増加するとともに、管内大手製造業の生産量が回復し、再び業況判断DIは上昇局面を迎えております。

(7) 全体を通して

管内景気(業況判断DI)は国内景気(日経平均株価)を後追いする形でほぼ連動して推移していることが分かりましたが、現実的に業況が悪化する一方で、国内景気悪化→暗い話題が多くなる→経営者のマインドが低くなる→業況判断DIの低下の論理があると思われます。

むろしんは、
働くあなたの
暮らしをサポート
します。

マイカー
購入に

子どもの
教育に

マイホームに



■ むろしん 職域サポート事業所様 特別金利のご案内

職域サポート事業所様で働いている方だけがご利用できる
おトクなローンをご紹介します。

専用ページには
こちらから →
アクセスできます。



職域専用ローンのご案内

職域サポートローン

特別金利

変動金利
(10年以内)

年 **1.48%**

通常金利 最優遇 2.35% 一般 3.95%

(保証料は別途、金利に上乗せとなります。)

固定金利
(5年以内)

年 **1.60%**

通常金利 最優遇 2.60% 一般 4.20%

固定金利
(5年超10年以内)

年 **1.90%**

通常金利 最優遇 3.40% 一般 5.00%

特別金利は

2023年8月31日(木)

申込み受付分までとなります。

- ご利用いただける方
職域サポート契約を締結している事業所で働く経営者・従業員の方(パート・アルバイトの方も可) 満20歳以上の方。*自動車関連資金に限り満18歳以上の方
(一社)しんきん保証基金の保証を受けられる方
- お使いみち
自動車関連資金(自家用車購入資金等)
教育関連資金(学校納付金等)
リフォーム関連資金(自宅修繕・増改築資金・空き家解体資金等)
- ご融資金額・期間
・500万円以内(1万円単位) ※満20歳未満の方は200万円以内
・10年以内
- 保証料
年0.38%

対象条件

しんきん保証基金の保証を受けられる方で、AまたはBのお取引を満たしたお客様が対象となります。

A スマートフォン・パソコンで当金庫ホームページからローンをお申込みされた方

B 下記の内容で2項目以上のお取引がある方、または同時申込可。(本人または配偶者に限ります。)

①給与振込・年金振込 ②公共料金 ③カードローン ④しんきんカード ⑤インターネットバンキング ⑥個人ローン・住宅ローン

- (一社)しんきん保証基金が保証しますので担保・保証人は不要です。
- 審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 金融情勢の変化などにより内容を変更・中止させていただく場合がございます。

- 毎月のご返済額等につきましては、本支店窓口で試算いたしますので、お気軽にお問合せください。
- 一部繰上返済・期日前完済・条件変更をされる場合は所定の手数料がかかります。
- 詳しくは、本支店窓口までお問合せください。なお、窓口の商品概要説明書をご用意しております。

室蘭信用金庫
ムロシん

2023年5月1日現在

職域サポート専用ページ <https://www.shinkin.co.jp/muroshin/individual/loan/shokuiki/index.html>



at home
FROM Muroshin housing loan

マイホームのお手伝い
 わたしたちむろしんの職員が、購入・借換え等住宅のお金に関わる様々な事をお手伝いします。その第一歩としてWEBによる受付を開始しました。
 平日は忙しく金融機関へ行けない方にも、簡単に事前審査や返済のシミュレーションをご利用いただけます。
 また、いつでも専門の職員へ相談ができるWEBの相談サービスもはじめました。
 少しでも、多くの方に快適なマイホームLIFEを送ってほしい、お金が理由で夢をあきらめてほしくないのです。

▶2023年5月15日 WEB申込みSTART



WEB事前審査申込み

ご自宅から、スマートフォンやパソコンで時間を気にせず、借入れ可能かどうか、借入可能金額等の事前審査が受けられます。



ローン相談サービス 返済等シミュレーション

ご自宅から24時間、上記サービスが受けられます。

その他にも

お得なキャンペーン情報は裏面へ▶▶▶▶

仮審査お申込の流れ

1. ホームページよりWEB住宅ローン専用ページから仮登録。
2. 事前審査申込用のURLがメールへ送信されます。
3. 受信メールからURLを開き、必要事項を入力します。
4. 申込受付通知がメールへ送信されます。
5. メールで申込整理番号を受け取ったら、審査結果を待ちます。
6. 審査結果を電話でお知らせ。

店頭で正式お申込・ご契約

※ 正式お申込み時、ご職業等によっては、ご要望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

 室蘭信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/muroshin>



お申込には条件がございます。詳しくは本支店窓口までお問合せ下さい。

編集後記

2023年度第1四半期(2023年4月~6月分)の景況感調査におきまして、お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

今後もスワンレポートの改善を重ね、少しでも当レポートをお客様の日々の事業活動に活かしていただけるよう、努めて参ります。スワンレポートの作成につきましては今後とも引続き、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

室蘭信用金庫店舗一覧表

■ 室蘭地区

本店 TEL 0143-22-1511

(母恋支店)

(小橋内支店)

中島支店 TEL 0143-44-3691

(本輪西支店)

(東室蘭駅前支店)

東町支店 TEL 0143-44-4762

(輪西支店)

高砂支店 TEL 0143-44-5228

(工大前支店)

白鳥台支店 TEL 0143-59-6881

■ 札幌地区

札幌支店 TEL 011-261-6441

札幌北支店 TEL 011-753-1131

■ 伊達地区

伊達支店 TEL 0142-25-2500

■ 登別地区

登別支店 TEL 0143-83-3135

(登別温泉支店)

(虎杖浜支店)

幌別支店 TEL 0143-85-2211

(富士町支店)

若草支店 TEL 0143-86-3311

(鶯別支店)

イオン登別出張所 TEL 0143-87-2511

■ 白老地区

白老支店 TEL 0144-82-2424

(萩野支店)

■ 苫小牧地区

苫小牧中央支店 TEL 0144-33-2411

(錦岡支店)

(苫小牧支店)

※ () 内は上記店舗内に設置

室蘭信用金庫 スワンレポート(No.100)

- 2023年7月発行 -

発行 室蘭信用金庫 経営企画部

室蘭市東町2丁目24番13号

TEL (0143)44-3355